飼い主のいない不幸な猫を減らすために…

富士市は 地域猫活動を支援します

補助金額を増額！

富士市猫の去勢・避妊 手術補助金

上限額：メス１頭　11,000 円
　　オス１頭　7,000 円

対象者：富士市内に生息する飼い主のいない猫に去勢・避妊手術を受けさせた富士市民
申請期間：令和７年４月１日～令和８年３月31日
補助額が予算額に達した時点で終了します。

地域猫活動に取り組む町内会・区の皆様へ

猫の適正管理推進モデル事業補助金

上限額：100,000 円

補助対象：1）去勢・避妊手術料
　　2）捕獲用器具類
　　3）トイレ、エサ代　など
申請期間：令和７年４月１日～令和８年１月５日
補助額が予算額に達した時点で終了します。

ご活用ください！

地域猫活動とは？
飼い主のいない猫を一代限りの命として全うさせるために、捕獲して去勢避妊手術を行い、地域に戻した後、地域住民で協力して猫の世話をしていく活動のことです。

庭へのふん尿

ゴミあさり

ケンカや鳴き声

【問い合わせ】富士市環境部環境総務課　☎０５４５－５５－２７６８

地域猫活動について

具体的には
何をするの？

1．地域住民の理解を得る

活動の実施には、地域住民の理解が前提となります。
地域で会議を開催するなど説明の場を設け、理解を得たうえで活動を行う必要があります。

2．活動のルール作り

地域で役割分担、ローテーション、日程を決め、無理なく活動が継続できるよう、体制を作ります。

3．猫の不妊去勢手術を行う

猫は非常に繁殖力が強い動物のため、飼い主のいない猫の数を減らすためには、去勢・避妊手術が必要です。

4．適正な餌やり

餌を与える時間と場所を決めて、管理する猫だけに餌を与えるようにします。食べ残しはすぐに片付け、置き餌は絶対にしないでください。そうすることで、他の猫の侵入を防ぐことができ、さらなる猫の繁殖を未然に防ぐことにつながります。

5．トイレ（ふん尿）の世話

餌を与える場所の周辺で、地域の合意が得られた場所にトイレを設置し、掃除をします。トイレを設置することで、ふん尿の被害を最小限に抑えることができます。

6．その後の管理

世話をしている猫の数、個体識別、健康状態の把握を行います。
異常を見つけた場合は、活動の代表者や獣医師に報告するなどの処置をします。

～地域住民、ボランティア、行政の三者の協力が必要です～

ボランティア

・TNR(★) の手伝い
・猫の管理方法の
　アドバイス

★TNR とは…飼い主のいない猫を捕獲し、去勢・避妊手術を行って、元の場所に戻すこと

地域住民（活動の主体）

・猫の世話
・活動資金集め
・生活環境の保全　など

市役所・保健所など

・話合いの場を作る
・去勢・避妊手術
　助成制度
・活動の周知

知識及び技術的なサポートや活動環境の整備などを行うことで、住民の活動を支援します